

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	63 -	事業名	消防団活性化事業	担当部課	消防本部 総務課
------	------	-----	----------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	1	災害に強いまち			
		施策の進め方	-				
	まちづくり行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域住民や事業所などの消防団活動への理解を高め、新規団員の確保等の入団促進を図り、消防団組織を活性化する。併せて、消防団活動に必要な災害対応用資機材や安全装備品の充実を図り、地域防災力の強化を図る。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民を始め市内事業所の職員や大学の学生及び消防団員				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 消防団に対する理解を高め、消防団への入団につなげる。資機材等の充実により地域防災力の強化につなげる。				
	事業を構成する事務事業	① 入団促進事務事業	継続	④		
	② 消防団啓発事務事業	継続	⑤			
	③ 消防団資機材整備事務事業	継続	⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							1,747
人件費(B)	千円	決算					4,200
総コスト(A)+(B)	千円	決算					5,947

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 新規入団員	人	目標					10
			実績					16
	B 資機材等整備率	%	目標			100		100
			実績			100		80
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 入団促進事業及び消防団啓発事業は、消防団員確保を目的としているため、新規入団員数を指標とする。

B 年度別の資機材等整備計画に基づき、年度内での配備数との比較を指標とする。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町でも新入団員確保は、困難を極めている。 資機材整備においても費用負担が高額であり、複数年にわたる整備となっている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 新入団員は、目標を上回る16人の新入団員を確保した。 資機材は、現場活動用消防ホースの購入を行った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 入団促進事業と消防団啓発事業は、一定の成果を得られたが、新たな入団促進策を、地域や事業所、大学等と連携・協力のもと実施することが必要である。 資機材整備は、高額であるため、時間を要するが継続していく必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 様々な先進事例を把握し、本市の特徴等を踏まえた新たな入団促進策を検討しながら、今後も継続していく。 資機材は高額なものも多いため、計画を踏まえて購入できるよう継続していく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防団活性化事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	入団促進事務事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民や事業所等に対し、消防団活動への理解を深めてもらい、新入団員の募集を啓発している。各種消防団事業の地域住民参加型での実施や広報媒体での集中的なPRなど、機会を捉え実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 新規入団者の獲得による消防団組織の活性化

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				626
		決算				546

3. 活動推移

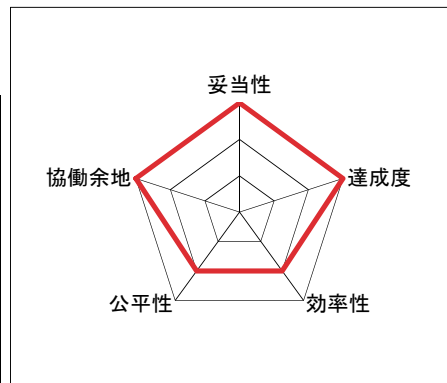
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
新入団者	人	目標				10	
		実績				16	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 全国的に団員確保策として学生団員の採用が増えるなど、各種先進事例を探り、新たな視点での事業展開が求められる。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続
----

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 当初入団と途中入団を併せ、当初目標を達成している。しかし、年度末退団者数が新入団者数を上回る状態となった。地域等の消防団への理解度は上がっているが、積極的な入団とは至らない。今後も創意工夫を交え事業を継続していく。
---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 消防団活性化事業

番号	②	事務事業名	消防団啓発事務事業										
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民や地域、事業所等に対し、防災講習会や防災訓練、地域参加型の各種訓練事業の実施など、参加機会を増やし、団活動の周知、理解をPRしている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民との距離を大切に考え、消防団の存在とその意義をPRし、認知度を上げるとともに、地域に必要とされる組織を目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				626
		決算				545

3. 活動推移

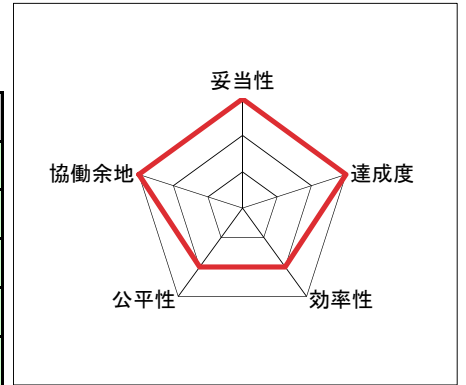
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
新入団者	人	目標				10	
		実績				16	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 消防団は地域防災力の中核を担う組織と位置付けられているが、年々団員数が減少している。しかし、活動数は増加傾向にあるため、現在の団員を減らすことなく団員確保を続ける必要がある。
---

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  
  
現在の活動内容にも工夫を凝らしていくことで、認知度を上げていく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防団活性化事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	消防団資機材整備事務事業								
----	---	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 消防団3分団に対し、各種災害対応等の消防団活動において、消防力を向上させる資機材備品を配備する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 災害活動で使用する資機材の整備や団員の安全装備を充実配備していく。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,093
		決算				656

3. 活動推移

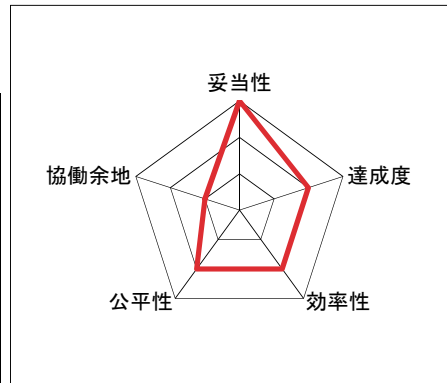
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
資機材整備率	%	目標			100	100	
		実績			100	80	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成28年5月末に電波法改正に伴うアナログ無線機の使用が不可となるので、代替の情報通信機器が必要となる。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	1



6. 今後の方向性

継続
----

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  3分団に対して現在配備済みである資機材数を再調査し、必要配備数を調査、3分団に均等に資機材等の配備を進める。
--